



カテゴリ: サステナビリティ

### JAL整備部門にて、今治タオルの端材を有効活用

～廃棄される端材を航空機の整備に利用します～

日本航空株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:赤坂 祐二、以下「JAL」)は、今治タオル工業組合およびコンテックス株式会社(本社:愛媛県今治市、代表取締役社長:近藤 聖司、以下「コンテックス」)の協力を得て、今治タオルの製造過程で発生する端材を、松山空港で駐機する航空機に付着するオイル汚れなどを拭きとるウエスに活用する実証実験を行います。

今まで松山空港のJAL整備部門では、回収された古着を裁断しウエスとして活用していましたが、吸水性と品質に優れた今治タオルの端材を利用することにより、航空機や部品が傷付くリスクが低減すると同時に、環境負荷の低減やタオルの処理費用の削減にも繋がります。

JALは、今後も廃棄される今治タオルの端材を活用した取り組みを推進し、環境保全の実現に貢献してまいります。

#### <実証実験概要>

- 実施日程 : 第1回目 8月初旬に実施済み
- 第2回目 2022年10月19日(水)
- 第3回目 2022年11月中(予定)

※天候や新型コロナウイルス感染症の拡大状況などの理由で、日程が変更になる場合がございます。



コンテックス <http://kontex.co.jp/>



(上記は 8 月初旬に実施した実証実験の様子)



#### ■ 端材回収の行程

- 1) 支店スタッフ、およびJALふるさとアンバサダーが、今治地区セールス活動時に、コンテックスより今治タオル端材を回収。
- 2) 社用車で松山空港まで運搬。(約50kg/回を想定)
- 3) 松山空港のJAL整備部門に引き渡し、駐機する航空機のクリーニング用ウエスとして活用。
- 4) 徳島・高松・高知の四国各空港と南紀白浜空港へ送付し、各空港でも駐機する航空機のクリーニング用ウエスとして利用。

以上